



NIAふれあい掲示板

NEWS 11月号



平成26年11月1日発行
習志野市国際交流協会
日本語教室部会
vol.36

◆NIAの予定 11月～12月◆

- 11月15日(土) 実花小学校 40周年 記念文化祭 「世界を知ろう」サポートプラン
場所・時間 実花小学校 10:00～12:00
- 11月19日(水) 日本語ボランティア 研修会 第3回 13:30～16:30
- 11月21日(金) 世界の料理教室 中国の家庭料理 講師 中橋 一栄 (NIA中国語講座 講師)
場所・時間 菊田公民館 10:00～13:30 前後
- 12月1日(月)、3日(水) あすなろ会 華道教室

◆学習者紹介◆

- ①名前(学習曜日) ②出身国、都市 ③趣味 ④一言 ⑤担当日本語ボランティア



- ① 富樫 セングドゥアン (水)
② タイ、プレー
③ 家族と出かける、料理を作るのも好き。
④ 今年は日本語能力試験N2にチャレンジ
します。日本の季節が大好き。特に秋は
食べ物が美味しいですね。人のために役立つ
ようなお仕事をしたいと思っています。
⑤ 細川 佐代子



- ① メイ プイ (月)
② マレーシア、サラワク
③ 映画、旅行、写真撮影
④ 世界に目を向けて、見たり聞いたり
試したりして、色々な経験をしたい。
⑤ 本多 郁子

◆習志野市美術展覧会賞 受賞おめでとう◆



生涯 学習 社会での贈り物? 千葉 正恵 日本語ボランティア (火・水)
毎回真剣に学習している皆さんの姿は、私の考えている生涯 学習 社会そのものです。
個々それぞれの環境で生活しながら、スキルアップしている皆さんは、とても素敵です。
今回私も長年取り組んできた『書』で、『習志野市美術展覧会賞』という賞を頂きました。
これは、たまたま続けていて運良く受賞出来た事かもしれません。「ゆりかごから
墓場まで」と言われる「学び」は、年齢・性別・国籍に関わらず存在するのです。皆さんが学んでいる
姿が好きです。これからも日本語を学び、日本をもっと知り、母国と同じ位、好きになって下さい。



◆「日本語ボランティアのための講座 in八千代」に参加して◆



館向 智美 日本語ボランティア (水)



大学や語学学校で外国人に日本語を教えつつ、日本語ボランティアの育成講座で積極的に講演をされている
金子広幸先生の講座を受けました。金子先生の一番大切にされていることは、「日本語ボランティアは学習者
が自分で学習して習得していくことをサポートする」です。『日本語の習い方』を実際に中国語を学習してみ
たり、タイで3ヵ月生活することを想定して、シチュエーションに応じた必要な言葉を考えたり、地元のお薦
めスポットを紹介したり、色々な学習 活動を体験しながら、楽しく学ぶことが出来ました。

また、「リーディングチュウ太」という日本語のレベルが分かるホームページを紹介いただき、やさしい日本語を意識して使
うことが大切だと教わりました。そして、色々な方と交流したり、他の地域の活動の様子を聞いたり、貴重な体験をすることが
出来ました。

9月4日(木)、11日(木)、18日(木)、25日(木)に財団法人ちば国際コンベンションビューロー・千葉県国際交流センターによる
『日本語ボランティアのための講座 in 八千代』が開催されました。

11月、12月には「日本語ボランティア・スキルアップ講座」が開催されます(11月4日申込 締切り) <http://www.mcic.or.jp/>
「リーディングチュウ太」ホームページ <http://language.tiu.ac.jp/>



◆スピーチ茶話会 10月6日(月)~9日(木)◆

今年は6日(月)の茶話会が台風の影響で27日(月)に延期になるハプニングがありました。私の参加した8日(水)は学習者もボランティアも始まる前から準備に忙しい様子。映像を使ってスピーチをよりわかりやすくする工夫をしたり、自分自身や家族、生まれ故郷、仕事、日本のごこと、更にはテング熱について話をする学習者もいて、内容の豊富さに驚きました。普段の日本語学習クラスでは、何となく顔は知っているけれど、それ以外では接点がなく、話す機会がないということもあると思いますが、皆のスピーチを聞いて、意外な共通点を発見したりして、お互いをもっと身近に感じられるようになったのではないかと思います。(山)

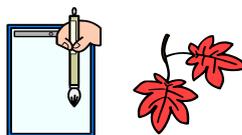


代 晶 学習者(水) 中国出身

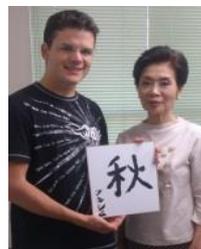
私はスピーチ茶話会に出たのは2回目です。日本語が少ししかわからないから、3週間前から準備しました。2回目でも緊張しました。スピーチ茶話会は学習者が日本語を話すチャンスとして、いいことです。みんな自分の国のこと、日本のごこと、いろいろ話しましたが、私はがんばって聞いて意味が少しわかりました。2年間日本で暮らして、初めは食べられなかったスシが大好きになりました。私は来年3月に大連に帰ります。今、大連で部屋を借りるために、がんばって働いています。



◆あすなろ会 書道教室 9月29日(月)、10月1日(水)◆



塚本 禮子先生のご指導の下、この日は学習者と日本語ボランティア合わせて14名の参加がありました。皆それぞれに自分の好きな言葉を選んで先生にお手本を書いてもらい、一画一画慎重に筆を運んでいました。最後にカタカナや当て字の漢字で名前を書き入れて立派な作品に仕上がりました。(赤)



マキシム アンドリゲット 学習者(木) フランス出身

29日(月)に書道入門の授業を受けました。以前に一度体験したことがありますが、教室で書道の先生に習うのは初めてでした。とても面白かったです。私が書いた漢字は「秋」でした。左利きなので、不安な気持ちで右の手で書いてみました。結局、そんなに難しくなかったが、跳ねとか払いなどの技術がなかなか習得できませんでした。下書きで練習をしたうえで、最後に色紙に書きました。先生に色紙に言葉を書いていただいて、家に持って帰りました。筆もいただいたので、これから練習しようと思います。

◆姉妹都市タスカルーサ ホームステイ体験記◆



ありのままの〜トタスカルーサ 細川 アディナ 高3

市内高校生20名で7月24日から2週間、アラバマ州タスカルーサを訪問。アトランタに1泊し、翌朝タスカルーサまでバスで3時間揺られ到着。そこで現地の高校生と交流し、CNN、コココーラ本社、キング牧師の生家、NASA、考古学公園等を見学。旅行で行くには気が遠くなるような長距離を制覇し、人生の数年を凝縮した2週間だった。そんな中で、私の今回の滞在はどうやらみんなと違って、滞在先家族との食事は一度もなく、会話もなく、ついでに夕食もなかった。迎えや出かけ帰りにファストフードで済ませ、冷蔵庫にはタスと私の為に買ってくれた10日分サイズのリンゴジュースのみ。私は、実家に送金を頼み、自炊して家族の食事も作ろうとGoogleでマーケットか飲食店を探した。しかし車道と林ばかりで人もいない。改めて怖くなり持参した即席を湯で戻して食べた。滞在先のお母さんは仕事で朝7時に帰ると、すぐにベッドに入るので話す機会は殆どなく、お父さんは洗車以外見かけなかった。唯一世話をしてくれた娘さんは声が細く英語が聞き取れず悔しい思いをした。もどかしい日々を過ごすうち、ゲスト扱いされるより気が楽か〜と思えた。お母さんは携帯の翻訳機能を使ったり、私の言葉が出るまで待ってくれたり、マーケットで買ったお土産を全額支払ってくれたり嬉しかった。この家なりの配慮が見えたから10日間が嫌な思い出にならなかった。「ありのまま」のその家庭の「日常」「普段」「生活」を家族と同じように過ごせた現地らしい家だった。肝が据わった今、いつかまた泊まりたいと思える。今度は大丈夫!



コココーラ本社にて